



お客様氏名

実施日

年

月

日

理学美容師名

## 細菌感染症の進行と症状

該当する部分にチェック☑をして下さい。

- 痒み・痛みの発生  
《頭皮には何の異常もないのが特徴です。》
- 薬液（ジアミン・チオグリコール酸・過酸化水素）で痒みが止まる  
《薬液による滅菌作用によって発生する現象です。》
- カラー剤が頭皮に染まる（皮膚炎の発生）
- フケの発生  
《痒みを伴う粒子の細かいフケと鱗状のフケが頭皮を覆っている場合、極めて危険な状態です。》
- 毛が細く痩せて脱毛が増える（血管萎縮脱毛症）  
《脱毛に加え癖毛・縮毛の発生や悪化を招く場合もあります。》
- 紅斑（毛細血管の破裂による発赤）や吹き出物（膿疱性痤瘡）の発生  
《頭皮に吹き出物が発生することは極めて稀で、危険な状態です。》
- 慢性的な皮膚炎や癬・癩（半球状の発赤で疼痛を伴う）の発生  
《癬・癩は髪の毛に触れただけでも激痛を感じるのが特徴です。》
- 頭皮の角化（褐色）  
《過去に接触性皮膚炎（かぶれ）を起こした可能性が高く再発の危険性があります。》
- 顔の異常（赤ら顔〈紅斑〉・吹き出物〈膿疱性痤瘡〉・毛細血管の露出〈酒皸〉の発生）  
《時間の経過と共に症状が悪化する場合、極めて危険な状態です。》
- 自己免疫疾患の発生（過敏症）  
《水・汗・毛髪・犬猫の毛・花粉・圧迫・摩擦・紫外線・風・乾燥・温度など多くの物質や刺激を攻撃する過剰防御反応の発生です。日常生活にも支障をきたす状態になる場合があります。》